

俳句通信

特別作品25句 ● 廣瀬直人「村の音」

特集 ● 〈虚子最後の句集「七百五十句」を読む〉

不完全の肯定—「七百五十句」を読む 岸本尚毅

さらなる艶の世界へ 本井 英

真理の扉をひらく 高柳克弘

虚子の真骨頂 仲村青彦

宇宙と一体化した生命力 小島 健

高浜虚子「七百五十句」——晩年の光と闇 林 桂

極楽の文学としての「七百五十句」 稲岡 長

鼎談・「七百五十句」を読む

——「やっぱり花鳥諷詠南無阿弥陀」

出席者・・・筑紫磐井・坊城俊樹・星野高士

(あいうえお順)

【新作30句】

後藤比奈夫「一夏九句」

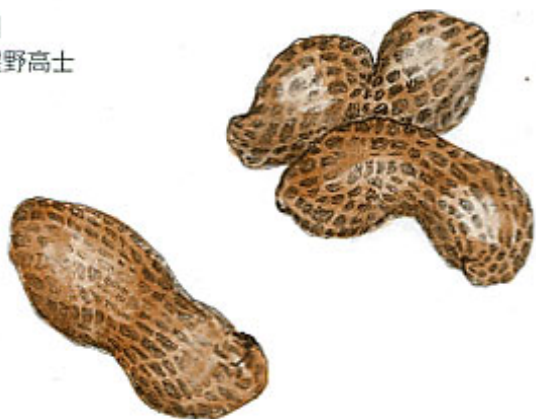
木内恵子「虫の音」

実力作家3人競詠

船越淑子「花すすき」

高橋さえ子「端居」

好井由江「いなびかり」



●好評エッセイ●

視野遠近「大景小景(5)」廣瀬直人

伝統の探求「伝統と反伝統」筑紫磐井

戦後の俳人たち「赤尾兜子」松岡ひでたか

虚子の肖像「虚子の生霊」坊城俊樹

飯田龍太は森である「家住期前期(二)」清水青風

【新連載】思い出の森澄雄——雅帖の旅

作品 ● 田中水桜・大坪景章・星野麥丘人・神蔵器・
関口恭代・今瀬剛一・佐怒賀正美・里川水章・
たむらちせい・金森直治・小島幸男・須原和男・
小路智壽子・荻原都美子・土屋義方・米山光郎・
瀬戸清子・下坂速徳・小林正史・新海あぐり ほか

甲斐の秋

廣瀬直人

写真・長谷川新三



村の音

廣瀬直人

立秋の酒蔵ひとつ聞ひとつ

稲光荒草伏して水を堰く

稔り田へ住職の鐘二打三打

杉山を迷はず抜ける雁渡し

雨筋に朱の立ち揃ふ野萱草

みづうみに突風の波秋旱



特集

虚子最後の句集

『七百五十句』を読む

虚子の最後の句集『七百五十句』について、その評価は『五百句』から『六百五十句』までの句集への評価ほどははっきりしていないように思われます。いま、改めて『七百五十句』をどのように読むか、読んだかについてお書きいただきました。最後に筑紫磐井氏、星野高士氏、坊城俊樹氏による鼎談をお願いしました。